

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年 6月30日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 福岡県八女郡広川町大字日吉1164-2

氏 名 ローム・アポロ株式会社

代表取締役社長 辻 辰雄

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0943-32-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ローム・アポロ株式会社 筑後工場
事業場の所在地	福岡県筑後市大字上北島883番地
事業の種類	[2899] その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 ² 年4月1日 ~ 令和 ³ 年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

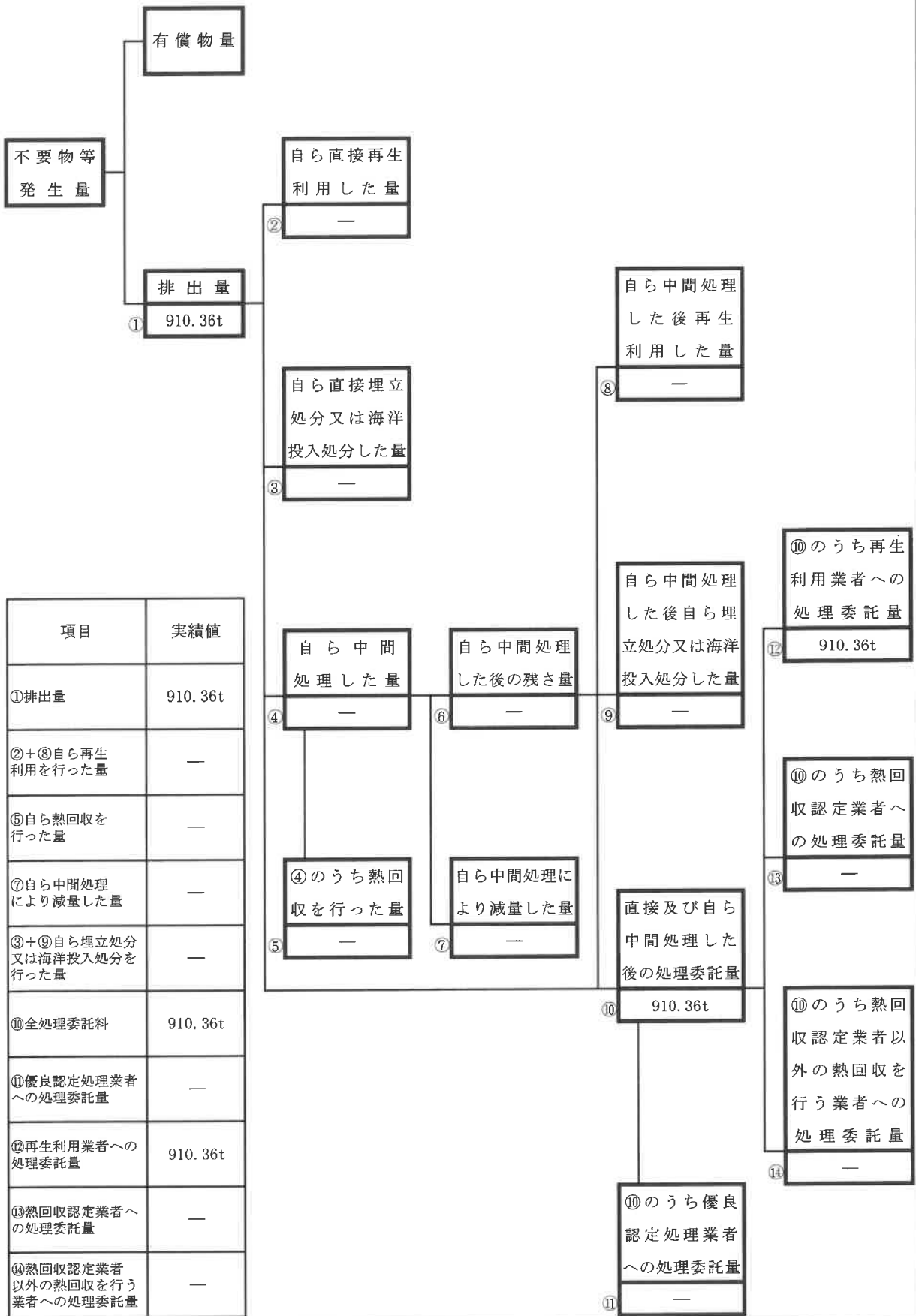
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,002.5 t	全処理委託量	1,002.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	優良認定処理業者への処理委託量	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	再生利用業者への処理委託量	1,002.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	認定熱回収業者への処理委託量	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—



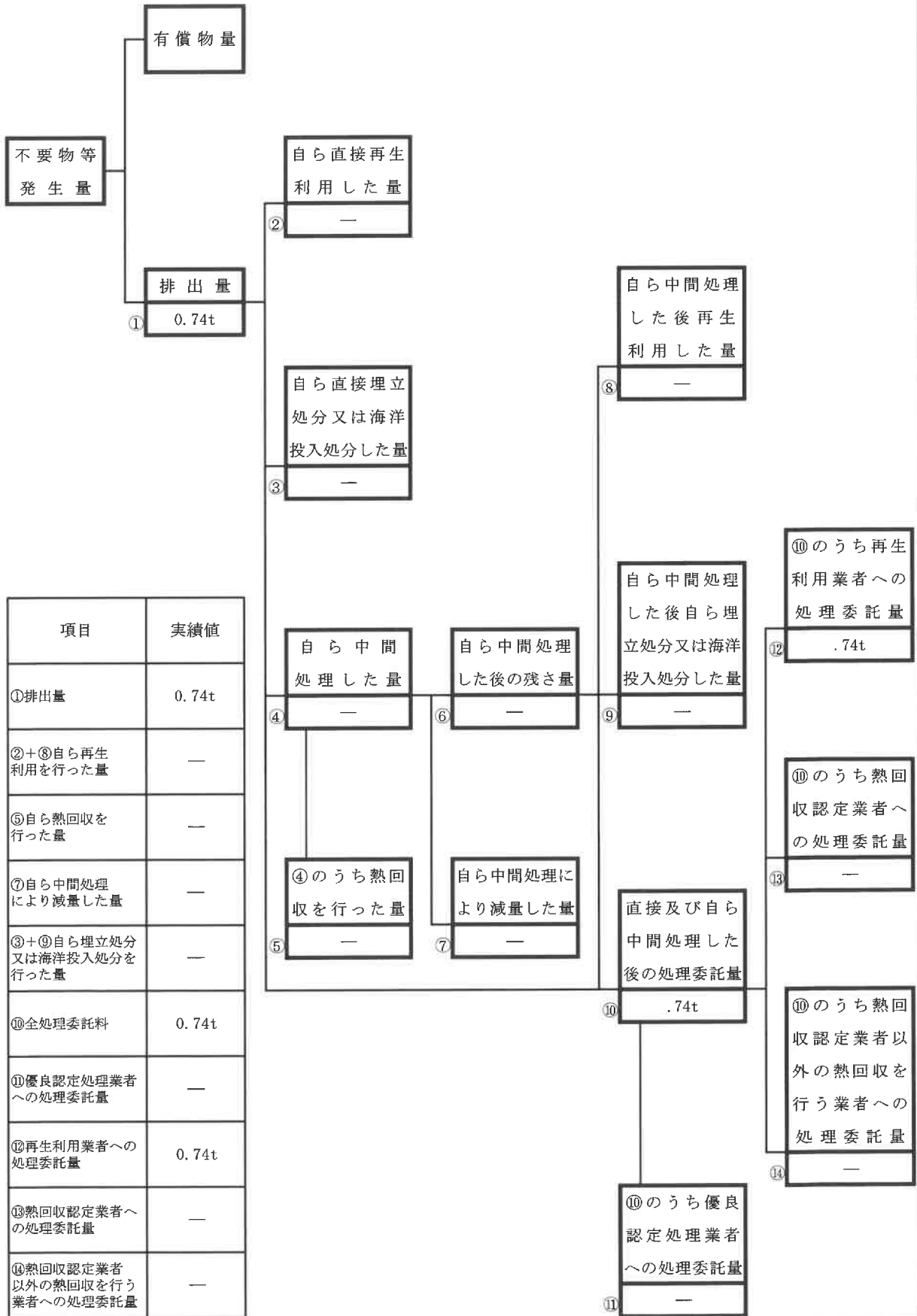
※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

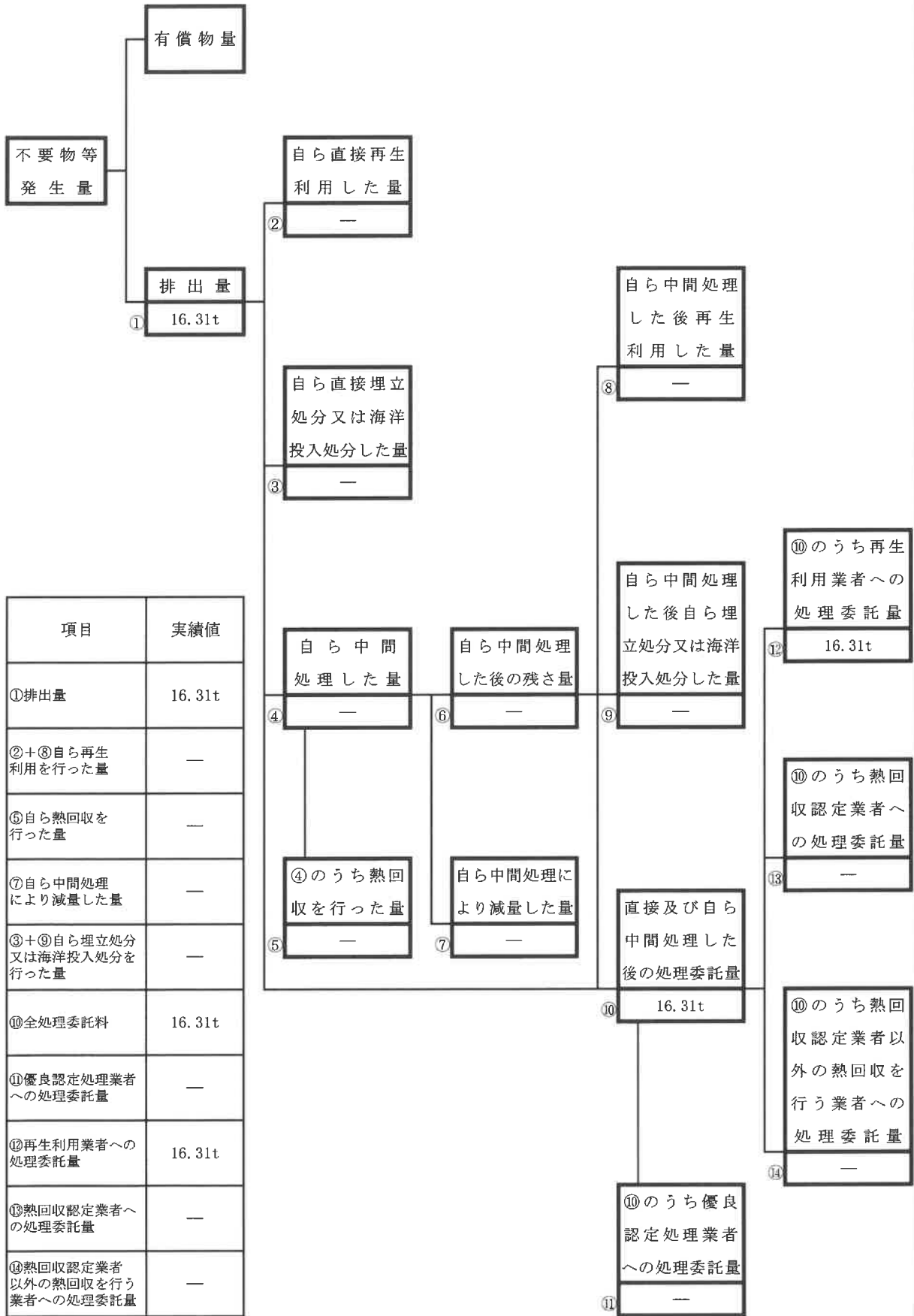


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：廃油)



項目	実績値
①排出量	0.74t
②+⑧自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託料	0.74t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	0.74t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

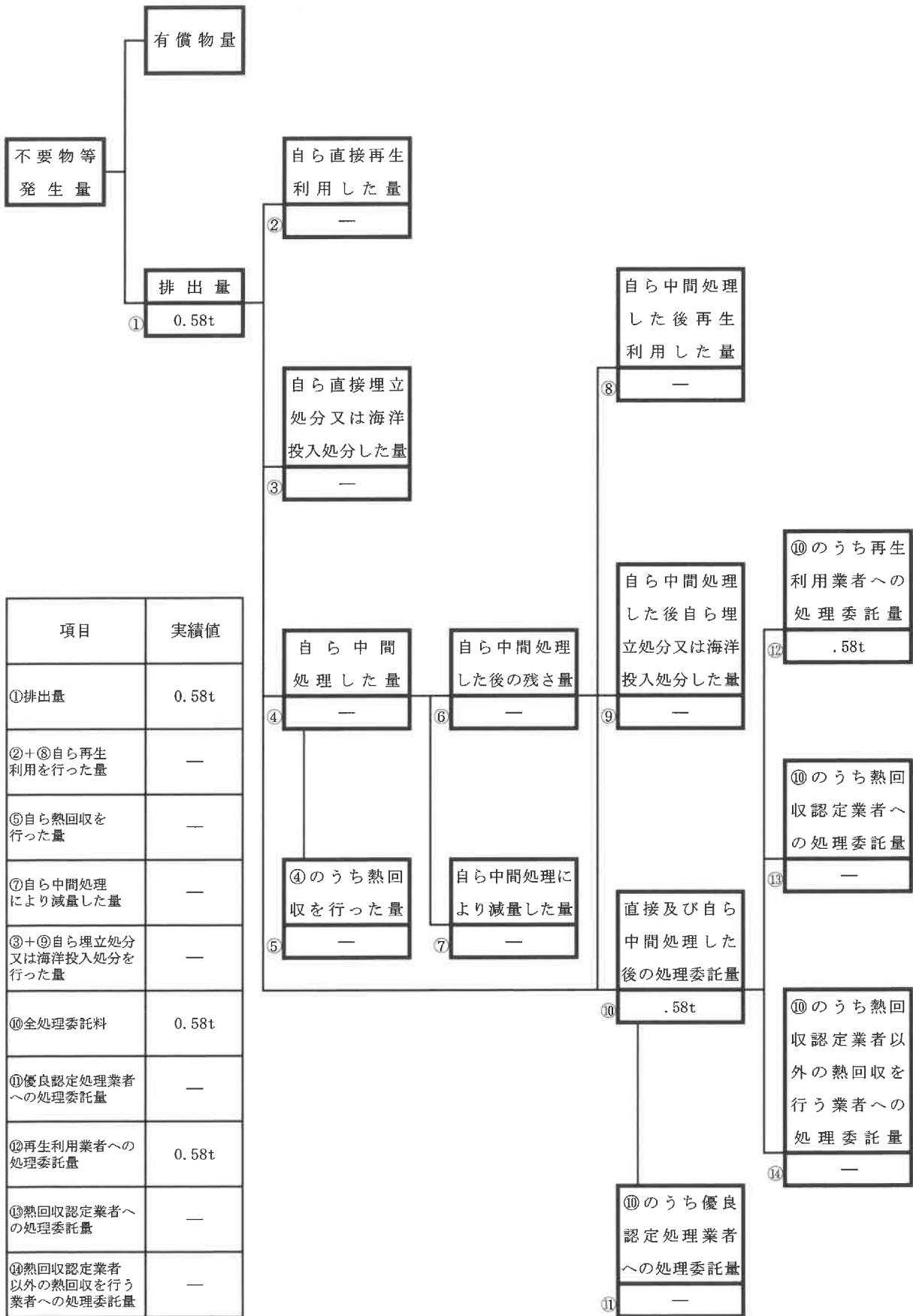
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：廃酸)



項目	実績値
①排出量	16.31t
②+⑧自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託料	16.31t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	16.31t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

計画の実施状況

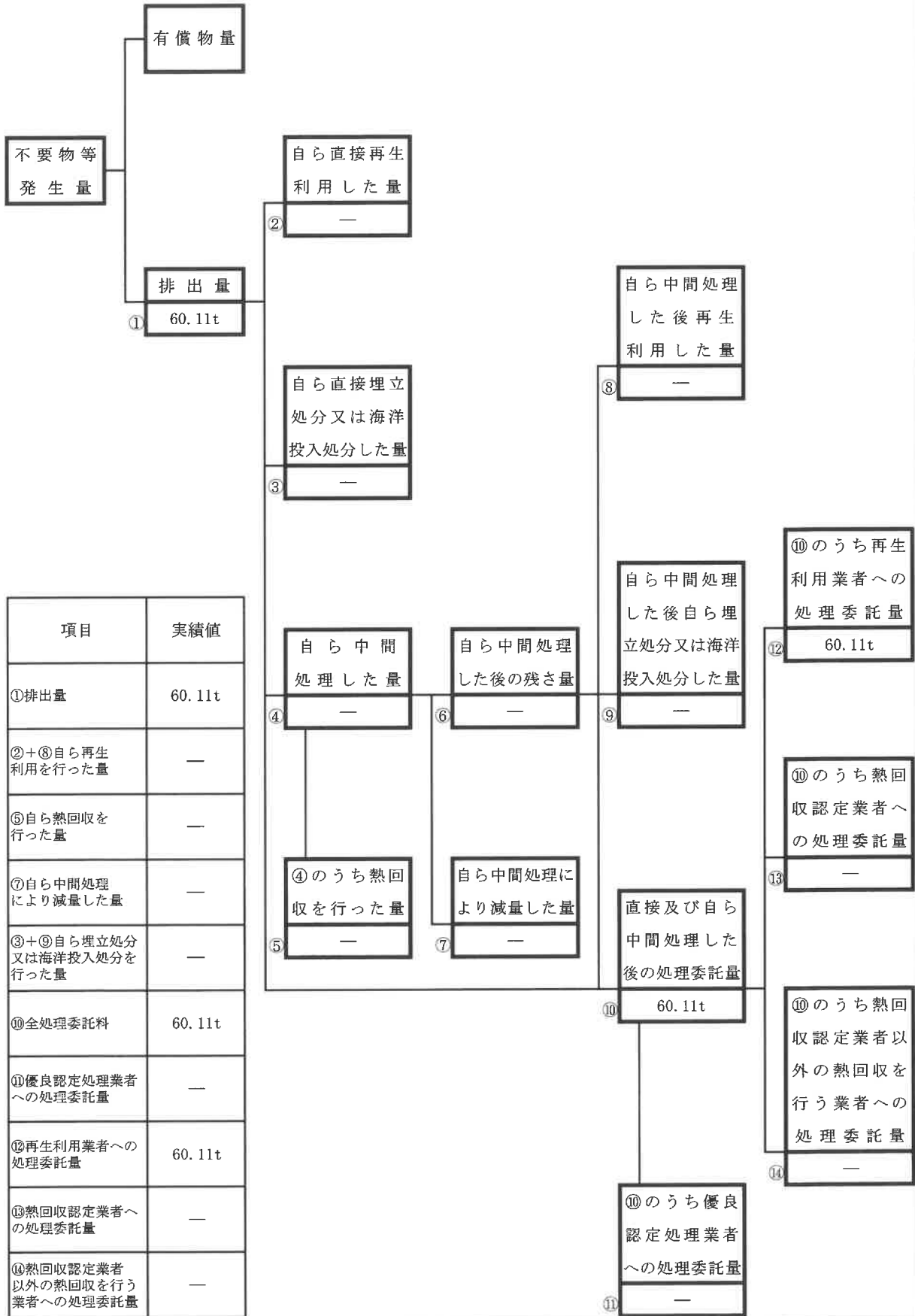
(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	0.58t
②+⑧自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託料	0.58t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	0.58t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

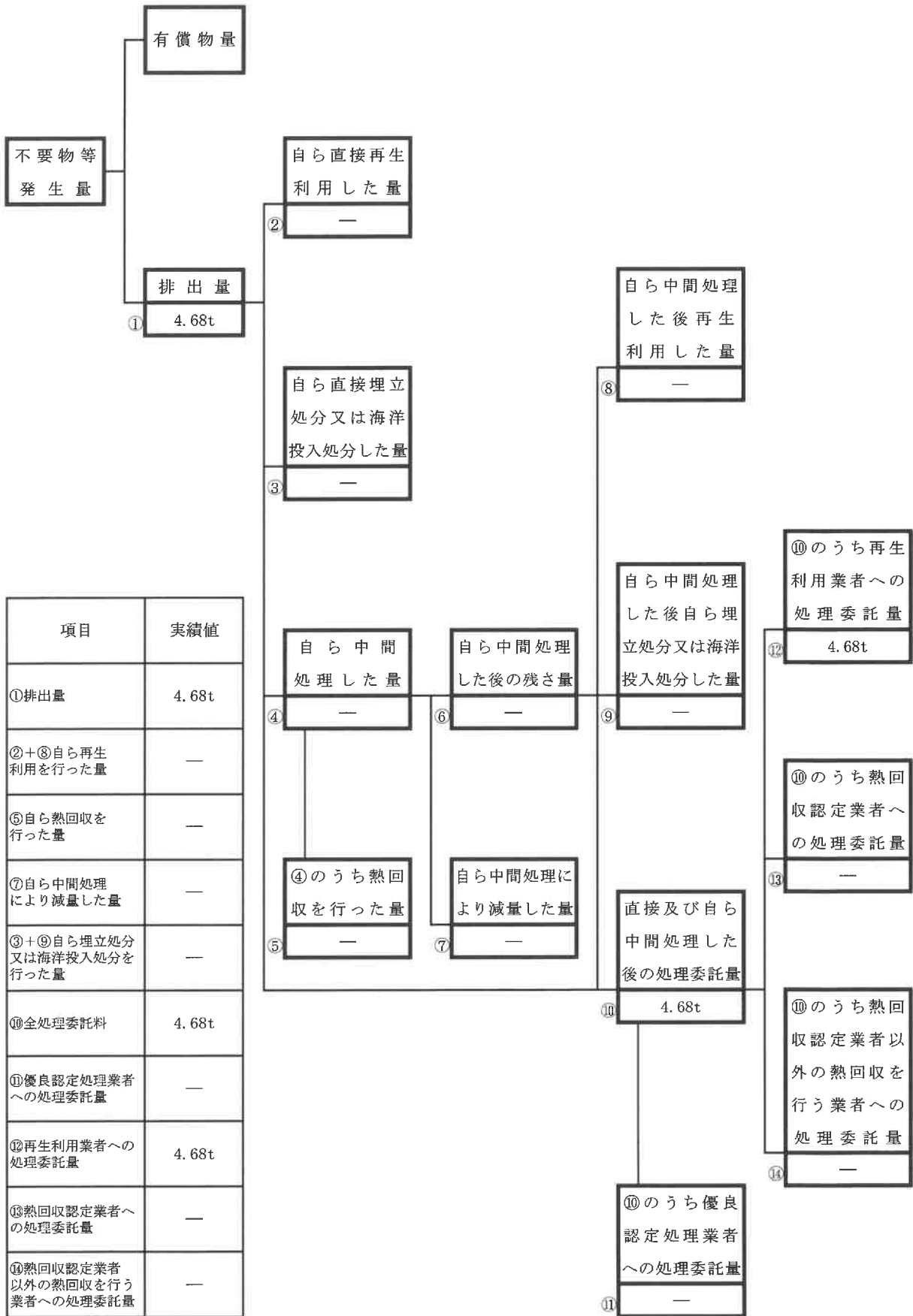
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラ)



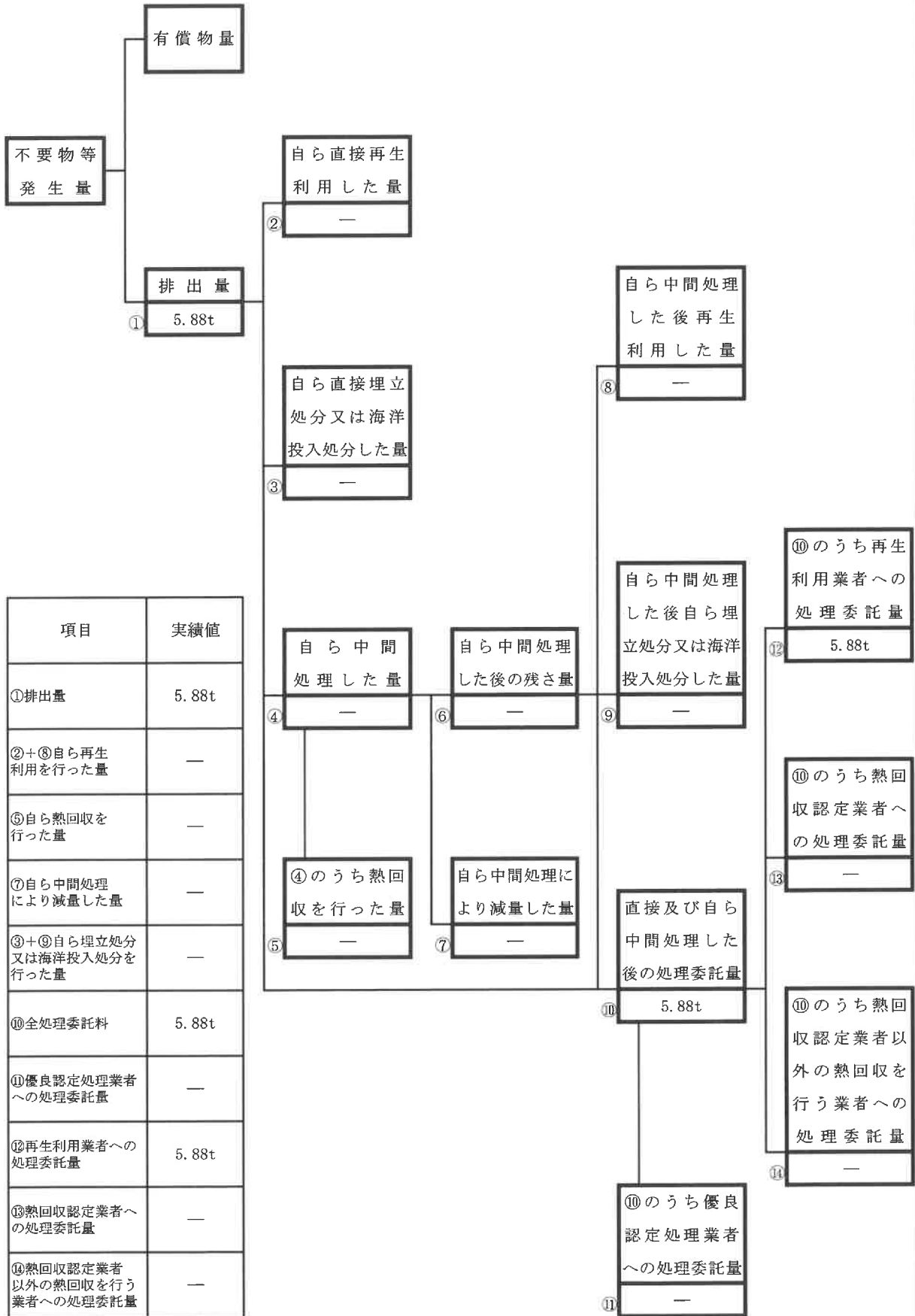
項目	実績値
①排出量	60.11t
②+⑧自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託量	60.11t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	60.11t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：金属くず)

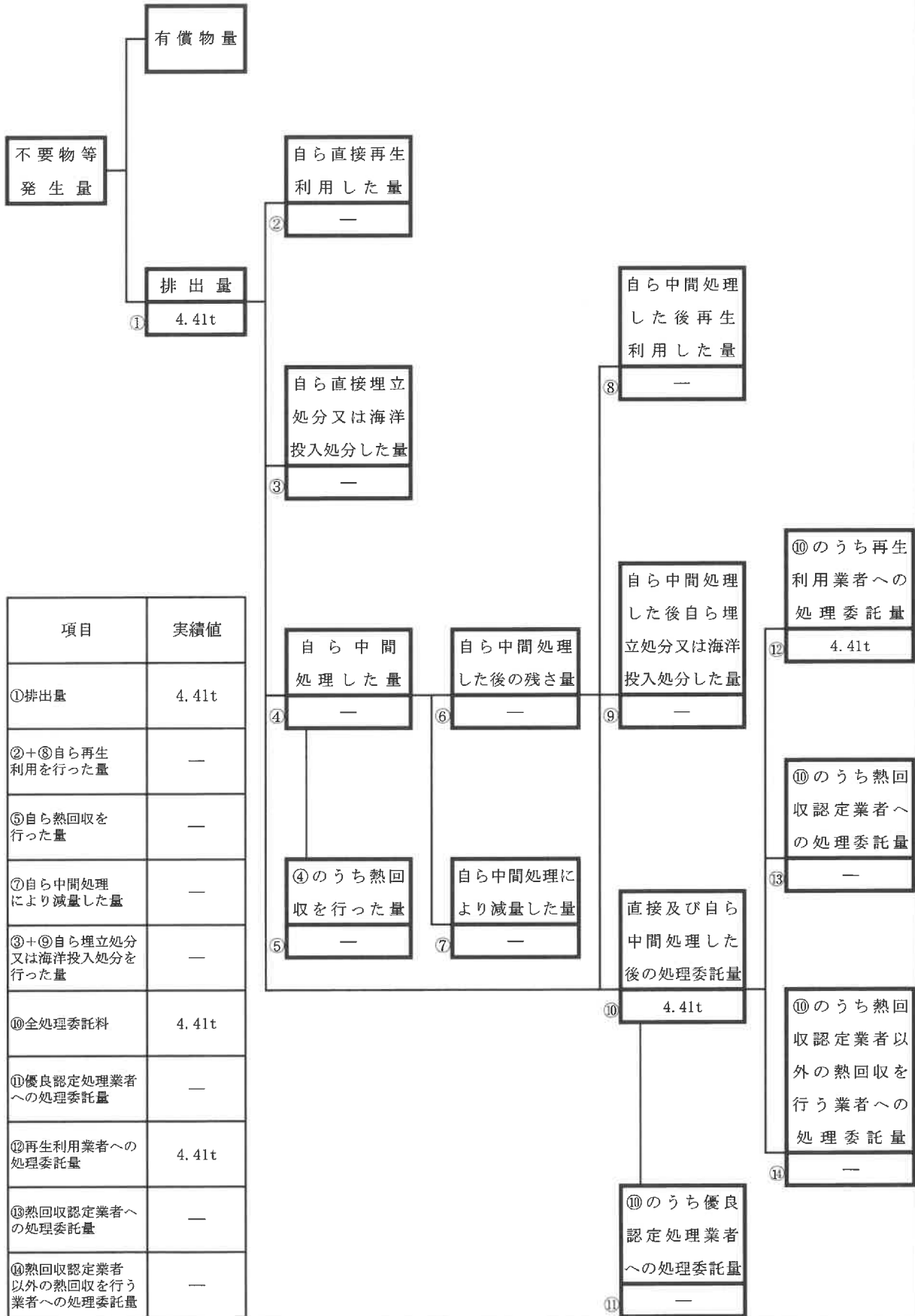


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値
①排出量	4.41t
②+③自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託料	4.41t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	4.41t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

委託処理状況報告書

令和3年 6月30日

報告書

福岡県八女郡広川町大字日吉1164-2
 ローム・アポロ株式会社
 代表取締役社長 辻 辰雄
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0943-32-3000

多量排出事業者処理計画作成要領に基づき、令和2年度の委託処理状況を報告します。

事業場の名称	ローム・アポロ株式会社 筑後工場				事業場の所在地		福岡県筑後市大字上北島883番地	
廃棄物の種類	区分	委託処理量	委託中間処分量	委託直接最終処分量	委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後最終処分量	備考	
汚泥	総量	910.357 t	—	—	910.357 t	—		
	県域	10.645 t	—	—	10.645 t	—		
	政令市	202.0 t	—	—	202.0 t	—		
	県外	697.582 t	—	—	697.582 t	—		
廃油	総量	0.740 t	—	—	0.740 t	—		
	県域	0.140 t	—	—	0.140 t	—		
	政令市	0.600 t	—	—	0.600 t	—		
	県外	0 t	—	—	0 t	—		
廃酸	総量	16.305 t	—	—	16.305 t	—		
	県域	16.305 t	—	—	16.305 t	—		
	政令市	0 t	—	—	0 t	—		
	県外	0 t	—	—	0 t	—		
廃アルカリ	総量	0.583 t	—	—	0.583 t	—		
	県域	0.583 t	—	—	0.583 t	—		
	政令市	0 t	—	—	0 t	—		
	県外	0 t	—	—	0 t	—		



廃プラ	総量	60.112 t	—	—	60.112 t	—
	県域	45.907 t	—	—	45.907 t	—
	政令市	0 t	—	—	0 t	—
	県外	14.205 t	—	—	14.205 t	—
金属くず	総量	4.675 t	—	—	4.675 t	—
	県域	4.675 t	—	—	4.675 t	—
	政令市	0 t	—	—	0 t	—
	県外	0 t	—	—	0 t	—
ガラス・陶磁器くず	総量	5.880 t	—	—	5.880 t	—
	県域	5.420 t	—	—	5.420 t	—
	政令市	0.010 t	—	—	0.010 t	—
	県外	0.450 t	—	—	0.450 t	—
木くず	総量	4.410 t	—	—	4.410 t	—
	県域	4.410 t	—	—	4.410 t	—
	政令市	0 t	—	—	0 t	—
	県外	0 t	—	—	0 t	—

※廃棄物の種類毎に総量とその総量のうち、県域（北九州市、福岡市、大牟田市及びび久留米市を除く県域）、政令市（北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市）及び県外で処理している量を記入すること。

（日本工業規格 A列4番）